

AG 明智ゴルフ倶楽部杯 中日・CBCチャレンジ
【To THE CROWNS】2024-2025 明智大会

日時：2024年8月22日（木）・23日（金） 開催コース：明智ゴルフ倶楽部明智ゴルフ場 東コース

—競技の条件—

1. ゴルフ規則

日本ゴルフ協会ゴルフ規則とこの競技のローカルルールを適用する。

2. 使用球の規格（規則4. 2 a）

- a. 競技者の使用球はR&Aルールズリミテッド（USGA版）発行の最新公認球リスト(※)に載っているものでなくてはならない。この条件の違反の罰は競技失格。
- b. 正規のラウンド中、競技者が使用する球は同じブランド・同じタイプの球でなくてはならない。同じブランド・同じタイプの球とは最新の公認球リストに1種類の球として載っているものをいう。

3. ドライビングクラブ

競技者が持ち運ぶドライバーはR&Aによって発行される最新の適合ドライバーヘッドリスト（モデルとロフトで識別される）上に掲載されているクラブヘッドを持つものでなければならない。
例外：1998年12月31日以前に製造されたクラブヘッドを持つドライバーはこの条件から免除される。

※『最新の公認球リスト』及び『最新のドライバーヘッドリスト』はJGAのホームページからR&Aのホームページにアクセスして確認することができる。但し、公認球は月1回、適合ドライバーヘッドは週1回更新されるので注意のこと。

4. スタート時間（規則5. 3 a）

ゴルフ規則5. 3 a 例外3に規定するような、競技失格の罰を免除する正当な事情がないときは、競技者が自分のスタート時間後5分以内にプレーできる状態でスタート地点に到着した時は、遅刻の罰は最初のホールで2打。なお、5分を越える遅刻に対する罰は競技失格。

5. 競技終了

本競技は、競技委員長の成績発表がなされた時点をもって終了したものとみなす。

6. ホールとホール間の練習禁止（規則5. 2 b）

プレーを終えたばかりのホールのグリーン上及びその近くではいかなる練習ストロークも行っていない。終了したばかりのパッティンググリーンの表面をこすることや、球を転がすことでパッティンググリーン面をテストすることも禁止する。この条件の違反の罰は次のホールに2打の罰。正規のラウンドの最終ホールで違反があった場合はそのホールに対して罰を受ける。

※但し、9ホール終了時点で練習パッティンググリーン(カラー及びエッジその周辺)でパターを使っての練習のみ行っても良い。

7. プレーの一時中止と再開

- (1) プレーの一時中断（落雷などの危険を伴わない気象状況）については、ゴルフ規則5. 7に従って処置すること。
- (2) 険悪な気象状況にあるため、委員会の決定によりプレーが一時中断となった場合、同じ組の競技者全員がホールとホールの間にいたときは、各競技者は委員会よりプレー再開の指示が出るまでプレーを再開してはならない。1ホールのプレーの途中であったときは、各競技者はすぐにプレーを中断しなければならず、そのあと、委員会よりプレー再開の指示が出るまでプレーを再開してはならない。競技者がすぐにプレーを中断しなかったときは、ゴルフ規則5. 7 bに決められているような、罰を免除する正当な事情がなければ、その競技者は競技失格とする。
この条件の違反の罰は競技失格（ゴルフ規則5. 7 b（1））

(3) プレーの一時中断と再開の合図について

カートナビを通じて連絡する

8. 本大会においてはセルフプレーにより、カートによる移動を認める。

ローカルルール

1. アウト・オブ・バウンズ（OB）の境界は、白杭をもって標示する。
また、現にプレーするホールにおいて、球がアウトオブバウンズの境界を越えて他のホールのインバウンズに止まっても、その球はアウトオブバウンズとする。
 2. レッドペナルティエリアはその区域の限界を赤杭または赤線をもって標示する。
ペナルティエリアがアウトオブバウンズの境界に隣接している場合、そのペナルティエリアの縁はその境界まで及び、その境界と一致する。
 3. 異常なコース状態（動かさない障害物を含む）
 - (a) 修理地
 - (1) 白線で囲まれ青杭で標示してある区域。
 - (2) プレーヤーの球が張芝の継ぎ目にあるか、触れている場合、あるいは継ぎ目がプレーヤーの意図するスイング区域の障害となっている場合
 - (i) ジェネラルエリアの球：そのプレーヤーは、規則 16.1 b に基づいて救済を受けることができる。
 - (ii) パッティンググリーン上の球：そのプレーヤーは、規則 16.1 d に基づいて救済を受けることができる。しかし、その継ぎ目がプレーヤーのスタンスにだけ障害となっている場合、障害は存在しない。救済を受けるときは、張芝の区域の中のすべて継ぎ目は同じ継ぎ目として扱われる。そのことは、球をドロップした後にどの継ぎ目であってもプレーヤーの障害となる場合、たとえその球が基点から 1 クラブレンジス以内にある場合でも、そのプレーヤーは、規則 14.3 c (2) に基づいて要求されるように処置しなければならないこと（再ドロップ）を意味している。
 - (3) パッティンググリーン上やフェアウェイの長さかそれ以下に刈ったジェネラルエリアの部分にあるヤーテージ用にペイントされた線や点は修理地として扱われ、規則 16.1 に基づく救済を受ける事ができる。しかし、ペイントの線や点がプレーヤーのスタンスにだけ障害となっている場合、障害は存在しない。
 - (b) 動かさない障害物
 - (1) 白線の区域と動かさない障害物が繋がれている場合、ひとつの異常なコース状態として扱われる。
 - (2) 動かさない障害物で囲まれている庭園区域とその中で生長しているすべてのものは、ひとつの異常なコース状態として扱われる。
 - (3) ウッドチップやマルチ（木屑）など表面に敷いた道路や通路。ウッドチップやマルチ（木屑）などの個体はルースインペディメントである。
 - (4) コース内にある排水路はジェネラルエリアの動かさない障害物として扱われ、ペナルティエリアではない。
 - (5) 人工の表面を持つ道路に隣接している U 字排水溝および枕木はその道路の一部として扱う。
4. 次のものは不可分な物であり、罰無しでの救済は認められない。
 - (a) 樹木や他の常設物に密着させてあるワイヤー、ケーブル、巻物、その他の物
 - (b) ペナルティエリア内にある人工的な護岸やパイリング（枕木等の構築物）
5. 電磁誘導カート用の 2 本の人工の表面を持つ軌道は、全幅をもってカート道路とみなす。
球がカート道路の上にある場合、プレーヤーはゴルフ規則 16-1a の救済を受けなければならない。
6. 17 番のローピングがしてある修理地はプレー禁止区域とする。
7. プレーの進行を早めるためのパー3 のコールオン方式についてパー3 のホールに限り、
プレーのペースを全体的にスピードアップするため、先行組のプレーヤーは、全員がティーショットを終了した時点で後続の 2 組を目安としてティーイングエリアまで来ている場合コールオンを宣言し、パッティンググリーン上にある球の位置をマークしてすべて拾い上げ、後続組のプレーヤー全員がティーショットを済ませるまでプレーを控え、後続の組にティーイングエリアからプレーさせることができる。先行組からプレーするように求められ、後続組がそれに応じたときは、その段階で後続組の各プレーヤーは、自分の球が他のプレーヤーのプレーを妨げたり援助することになりそうだと思うときは何時でもその球を拾い上げて良い、との許可を先行組のプレーヤーに与えたものとみなす。
8. 4 番ホールと 5 番ホールの間にある黄・黒 2 色の杭は適用しない。


9. プレーヤーは、乗用カートの操作に関する注意事項を厳守すること。

注意事項

1. 競技の条件やローカルルールに追加、変更のあるときは、スターティングホールのティーイングエリア付近に掲示して告示する。
2. グリーンに著しく損害を与えるシューズは使用禁止とすることがある。
3. 練習は指定練習場にて行い、打放し練習場においては備付けの球を使用し、スタート前の練習は1人1箱(30球)を限度とする。
4. プレーの進行に留意し、先行組との間隔を不当にあけないよう注意すること。プレーを不当に遅らせた場合には、ペナルティーを課す場合がある。
5. 緊急時以外は、コース内での携帯電話の通話を禁止する。
6. 一般ギャラリーの入場を認めない。選手の付き添いは、コース内への入場は1番T、9番G、10番T、18番G付近に限定する。

追記

1. 朝食は、午前6時30分よりご用意いたします。
2. 練習場は、午前6時30分よりオープンします。
3. 昼食はハウス食堂およびコース売店をご利用ください。
4. バッグは口径9インチ、重量は13キロを超えないこと。

 明智ゴルフ倶楽部杯
中日・CBCチャレンジ
【To THE CROWNS】2024-2025
競技委員長 水谷 久嗣

荒天により競技不可能な場合の対応について

1. 8月22日(木)の初日(予選)が開催不可能な場合
 - ・23日(金)にエントリー者全員で18ホールストロークプレーを実施し、優勝者を決定します。
 - ・クラウンズへの推薦資格・賞金等は2日間競技の場合と同様に授与いたします。
 - ・1位にタイが生じた場合は、競技委員長の指定するホールにおいてホールバイホール形式のプレーオフを行い、優勝者を決定します。

2. 8月23日(金)の最終日(決勝)が開催不可能な場合
 - ・初日(予選)の成績で順位を決定します。
 - ・クラウンズへの推薦資格・賞金等は2日間競技の場合と同様に授与いたします。
 - ・1位にタイが生じた場合は、下記の方法で優勝者を決定します。
 - (i) ①10H~18H、②13H~18H、③16H~18Hの順のマッチングスコアカード方式
 - (ii) 上記(i)で決定しない場合は、18Hからのカウントバック方式

3. 8月22日(木)・23日(金)いずれも開催不可能な場合
 - ・当該大会を中止とします。
 - ・エントリーフィーを全額返金し、クラウンズへの推薦資格・賞金は授与しないものとします。

追記

指定ドロップ区域に関する【注意】

競技者が指定ドロップ区域を使用することを選んだ場合、ドロップや再ドロップについては次の規制を受ける。

- (ア) 球をドロップする際に、競技者は必ずしも「指定ドロップ区域」内に立ってドロップする必要はない。
- (イ) ドロップした球は必ず「指定ドロップ区域」内のコース上に最初に落ちなければならない。
- (ウ) 指定ドロップ区域を標示する白色の線は、「指定ドロップ区域」内とする。
- (エ) ドロップした際に球は「指定ドロップ区域」内に止まらなければならない。

以 上